

## 基本目標

地域住民と地域のあらゆる団体・組織の主体的な参画と  
協働により、誰もが安心していきいき暮らせるまちづくり

## 基本理念

### ○一人ひとりが尊重されるまちづくり（人権擁護）

すべての人が人として尊重され、一人ひとりがその人らしい幸せを求め、自立した生活を送ることができるまちづくりを推進します。

### ○地域住民が主役になるまちづくり（住民主体）

住民一人ひとりが主体となり、地域の福祉力を高め、地域住民でささえあうまちづくりを推進します。

### ○地域のすべてが関わりあうまちづくり（ネットワーク）

住民、ボランティア、福祉施設などの事業所や地域のあらゆる団体・組織が相互理解を深め、お互いが手と手をつなぎ、誰もが共に生きるまちづくりを推進します。

## キャッチフレーズ

つながる ひろがる ささえあう

このキャッチフレーズは、社会の変化がもたらす孤立、分断、排除を認識し、人権と社会正義の原則に則り、住民一人ひとりが社会の一員として共に生きる社会の創造を目指すことを表します。

- つながる 人と人、人と社会とのつながりをつくり、強くする
- ひろがる 多様で数多くのつながりや思いを社会にみたく
- ささえあう 一人ひとりがお互いに尊重し、支えとなる

## 個別支援（安心づくり）

生活困窮者等に対する支援	
1 自立相談支援事業	生活支援課
2 就労準備支援事業	
3 家計改善支援事業	
4 生活物品支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
6 民生融金貸付事業	
7 地域生活相談事業	
高齢者に対する包括的な支援	
1 包括的支援事業	高齢者あんしん支援センター
2 一般介護予防事業の一部	
3 第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務	
4 地域ケア会議に関する業務	
5 その他	
権利擁護を必要とする人に対する支援	
1 日常生活自立支援事業	いずも権利擁護センター
2 法人後見事業	
3 障がい者入居債務保証事業	
4 財産保全サービス事業	
5 市民後見推進事業	
6 いずも権利擁護センター運営委員会等の開催	
7 出雲成年後見センターとの連携強化	
総合的な相談支援	
1 出雲市福祉総合相談支援事業	総務課
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人に対する支援	
1 緊急フードドライブ等実施事業	

## 地域支援（地域づくり）

地域住民の主体的な福祉活動の推進	
1 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業	地域福祉課
2 地区社会福祉協議会連絡会の開催	
3 ふれあいサロン活動助成事業	
4 地域ふれあい見守りネットワーク事業	
5 福祉団体活動助成事業	
地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進	
1 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業	地域福祉課

2 出雲市生活支援体制整備事業	
3 住民参加型在宅福祉サービス事業	
(1) たすけあいボランティア事業	
(2) すこやか訪問事業	
4 共同募金歳末助け合い事業	
<b>福祉サービスの提供</b>	
1 車いす貸出事業	地域福祉課
2 ガイドヘルプ事業	
<b>社会福祉法人等との連携・協働及び支援等</b>	
1 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業	総務課
2 高齢者マッサージサービス事業	地域福祉課
3 団体支援等	
(1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援	地域福祉課
(2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会	総務課
(3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区	
4 地域限定の事業	地域福祉課
(1) 戦没者追悼事業	

## 人材育成（人づくり）

<b>ボランティア活動の促進</b>	
1 ボランティアまちづくりセンターの運営	地域福祉課
2 技術ボランティアの養成	
3 ボランティア活動に参加する人の拡大	
<b>福祉教育の推進</b>	
1 福祉教育推進事業	地域福祉課
<b>災害時のボランティア活動の支援</b>	
1 災害ボランティアセンターの設置運営	地域福祉課

## 法人運営

<b>信頼にこたえる法人運営</b>	
1 法人運営事業	総務課
<b>広報啓発活動の推進</b>	
1 出雲市総合社会福祉大会の開催等	総務課
2 「社協だよりいずも」の発行	地域福祉課
3 音訳広報・点訳広報発行事業	
4 ホームページの運営管理	
5 出雲市民余芸大会の開催	

<b>中期的な計画の推進</b>	
1 地域福祉活動計画推進事業	総務課
<b>災害見舞への取組</b>	
1 災害見舞金事業	総務課
<b>会館管理</b>	
1 会館管理事業	総務課
(1) 出雲市社会福祉センター管理運営事業	
(2) 多伎地域福祉センター管理運営事業	
(3) 平田福祉館管理運営事業	
<b>新型コロナウイルス感染症対策</b>	
1 方針の決定	
2 職員の感染予防対策	
3 施設利用への対応	
4 業務継続のための体制構築	

## 社協や福祉に関わる政策等の動向

### ○ 「地域共生社会の実現」に向けた動き

国においては、「地域共生社会の実現」を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトとして掲げ、取組を進めています。

令和3年4月に施行された改正社会福祉法では「重層的支援体制整備事業」が創設され、市町村においては地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制の構築が進められています。

出雲市では、第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき令和2年度から出雲市総合相談事業が開始され、令和3年度からはこれを引き継いで出雲市福祉総合相談支援事業が実施されました。

「包括的な相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を一体的に実施し、困りごとの解決を目指すだけでなく、社会とのつながりを取り戻すことも重視し、属性や年齢を問わずに相談を受け止め、関係機関との協働を進めることで本人や世帯に寄り添った支援が求められます。

### ○ 新型コロナウイルス感染症

令和4年度は、第7波、第8波とこれまでと同様に拡大と縮小を繰り返していましたが、これまでの株と比べて重症化率や致死率が低下したことなどを理由とし、感染法上の位置づけについて令和5年5月8日から2類から5類へ変更すると決定されました。

また、マスク着用の考え方の見直しが実施され、令和5年3月13日からマスクの着用は個人の判断に委ねられる事を基本とするなど、基本的な感染対策が大きく変わりつつあります。

## 本会の取組

### ○ 中期経営計画と地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

令和4年度は「第3次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」と「第3期中期経営計画」がともに計画期間の最終年度にあたることから、それぞれ令和5年度からの5年間を計画期間とする次期計画を策定しました。

「第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、出雲市における中長期的な地域福祉の進むべき道を示す計画であり、市とともに策定しました。「ぬくもりのある福祉のまちづくり」を基本目標とし、「地域共生社会の実現に向けて」を副題としました。

社会構造の変化を確実にとらえ、福祉施策をさらに充実させることにより地域のあらゆる住民が役割や生きがいを持ち、支え合いながら住み慣れた地域で自分らしく活躍できる社会を目指します。

「第4期中期経営計画」は、わが国の社会福祉が「地域共生社会」の実現に向かう中、本会のすべての事業において多様な市民が包摂されるよう、全役職員の共通理解のもとに、基本目標である「住民に必要とされ、信頼される出雲市社会福祉協議会」の実現を

目指すための基本となるものです。コミュニティソーシャルワーク（※）の実践である「小地域における住民主体による福祉活動の推進と支援」と「総合相談・生活支援体制の強化」について、より一層取組を拡大し、個別支援事業のさらなる強化が、地域共生社会の実現に向けての最重要項目として捉え、次の4点に関係する事業や取組を中心に進めていくこととします。

- ① 地域包括ケアの推進
- ② 生活困窮者支援
- ③ 権利擁護支援
- ④ 生活支援体制整備

※ 地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践。

### ○ 3本柱による重点事業の推進

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、昨年度に引き続き中止や縮小せざるを得ない事業がありました。

事業推進にあたっては、「個別支援（安心づくり）」「地域支援（地域づくり）」「人材育成（人づくり）」を柱として重点事業に取り組みました。

個別支援（安心づくり）は、生活困窮の状態にある人、高齢者、権利擁護を必要とする人に対する相談・支援と福祉サービスの提供を最重点に取り組みました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、相談支援を行うための訪問に関して、個別事情に応じさまざまな調整をしながら対応するなど、感染防止に配慮しながら進めました。

地域支援（地域づくり）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に地区社協の活動やサロン活動では、事業の中止や延期が多数発生しました。そうした中でも、コロナ禍においても生活課題を抱える人が地域社会において自立した生活を送ることができるよう、感染防止対策を行って活動を再開している団体の様子を伝えたり、具体的な方法について個別に相談を受けたりする事で、各地域での福祉活動再開に向けた支援を行いました。

人材育成（人づくり）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった事業もありましたが、地域における住民福祉活動を担う人やさまざまな地域福祉事業に参加・協力する人を広げることを目指して研修事業に取り組みました。また、十分な感染防止対策を行って学校における福祉教育の取組を進めるなど関係団体と連携しながら工夫して事業を実施しました。

### ○ 財務改革の推進

財務運営にあたっては、安定的な財源の確保に努めるとともに、限られた財源で効率的・効果的な事業実施に取り組みました。

平成30年(2018年度)12月に定めた「財務改革の推進方針」に掲げた「2019年度から3年以内に経常収支の赤字を1000万円以下に圧縮する」との目標は、初年度の令和元年度(2019年度)に達成し、その後も継続して強力に取り組み、4年連続で目標を達成しました。

#### ○ 経営管理体制と組織運営の強化

法人経営にあたっては、会長と常務理事が常勤する体制を継続するとともに、理事会、正副会長会の適宜開催、評議員会の適正な運営、監事による厳正な監査の実施など経営管理体制の強化に取り組みました。

毎月1回の経営会議の他、必要に応じ臨時経営会議を開催し、リスク管理など組織運営の強化に努めてきました。

事務局組織や職員配置は、限られた職員で最大の成果をあげることができるよう、適材適所の職員配置に努めました。また、フードドライブ事業など組織間の横断が必要な事業については、職員によるプロジェクトチームを編成し柔軟に対応しました。

本会の役割や存在意義が幅広い年代の地域住民に伝わり、理解されるよう、特に若い世代に向けてSNSを活用するなど広報活動を工夫しました。

#### ○ 新型コロナウイルス感染症への対策

新型コロナウイルス感染症を法人経営上の重大なリスクと位置づけ、感染予防の徹底と感染者が発生した場合の対応について準備しました。そして、県内・市内の感染状況に応じて随時臨時経営会議を開催し、情報共有と対策の決定等を行いました。

一方、新型コロナウイルス感染症対策として赤い羽根共同募金会の助成金を活用し、コロナ禍で困窮した個人及び世帯に対して、緊急食糧支援の取り組みを実施しました。多くの個人、企業、団体等からご寄附いただいた食品や日用品を、約1,485人の方に届けることができましたが、この事業を通じて本会の存在や活動についての認識・理解が広がったのも大きな成果でした。

## 個別支援（安心づくり）

地域において福祉サービスを必要とする人や世帯を把握し、相談に応じるとともに課題解決を図るための支援をしました。また、課題解決のために福祉サービスを提供しました。

### 生活困窮者等に対する支援（生活支援課）

生活困窮者自立支援制度に基づき、生活保護に至る前の段階の自立支援を図るため生活困窮者に対して包括的な支援をしました。また、生活困窮者の自立と尊厳の確保を目指すとともに、包括的な自立支援にむけて関係機関と連携し、共に支え合う地域づくりを推進しました。

#### 1. 自立相談支援事業

経済的困窮や社会的孤立など様々な課題を抱える人からの相談に応じ、関係機関等と連携を図りながら、一人ひとりの状況に合わせて、包括的、継続的に支援をしました。

(1) 相談受付件数：418件（うち新規申込件数：159件）

##### ①居住地域別人数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	不定	市外	その他	合計
85	30	1	3	4	9	22	0	5	0	159

②性別人数：159人（うち男性：92人 女性：67人）

##### ③年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
2	22	36	30	27	21	20	1	159

##### ④住居の状況

持家	借家	賃貸アパート、マンション	公営住宅	会社の寮、借上住宅	野宿	その他	不明	合計
47	9	41	13	16	3	4	26	159

##### ⑤ 主訴（重複あり）

主訴	件数	主訴	件数
病気・健康・障がい	37	地域との関係	1
住まい	22	家族関係・人間関係	13
収入・生活費	104	子育て	4
家賃・ローン	32	介護	2
税金・公共料金支払い	26	引きこもり・不登校	4
債務	13	DV・虐待	2
仕事探し、就職	27	食べるものがない	9
仕事上の不安やトラブル	2	その他	47
		合計	345



## (2) プランの策定状況

支援調整会議を開催し、支援対象者の自立支援が円滑に図れるようなプランであるか、関係者の意見を聞き、支援の方針を確認し決定しました。

- ① 支援決定・確認件数：14件（初回プラン13件、再プラン1件）
- ② 評価実施件数：14件（終結13件、再プラン終結1件）

## (3) 支援の状況

- ・相談支援後の就労者及び収入増収者数（就労者7人、増収者3人）
- ・住居確保給付金の利用

初回	延長	再延長	再再延長	再支給	合計
6	2	0	0	0	8

- ・生活保護受給者等就労自立促進事業の利用におけるハローワークとの連携（3件）

## (4) 広報・啓発

生活困窮者自立支援制度啓発セミナー

開催日 令和5年3月8日（水）

会場 朱鷺会館

内容 しまねのヤングケアラーを知ろう ～みんなで支える地域～

講師 島根大学 法文学部法経学科 教授 宮本恭子 氏

参加者 100人

## (5) 研修・会議

- ・職員の資質向上のために、外部研修に参加（参加回数14回）
- ・関係機関との連携に関わる会議に参加（参加回数9回）

## 2. 就労準備支援事業

様々な問題を抱え直ちに就労を目指すことが難しい生活困窮者並びに生活保護受給者に対して、生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形成が図れるよう個々の状態に合わせた支援を行いました。また、利用者の希望に沿った就労体験が出来るよう、協力事業所の業種を広げ開拓を行いました。

### (1) 利用者への支援

事業利用者

生活困窮者5人（うち新規利用 1人）

生活保護受給者 1人

- ・日常生活や社会生活の自立支援 1人

面談を行い、生活実態や課題を把握し、オリジナルプランを作成し支援しました。

規則正しい生活や身だしなみ、健康維持についてのアドバイスのほか、就労準備支援事業に通い活動することにより生活リズム作りを支援しました。あいさつなどの基本的なコミュニケーションのほか、職場見学や体験を通して、働くことのイメージ作りを支援しました。

・協力事業所での就労体験 2人

企業などでの継続的な就労体験の場をマッチングし、社会人としてのマナーなど必要な技術や知識の習得を支援しました。

・事業を利用し就労 2人（うち一般就労1人・就労継続事業へ移行1人）

就職活動に向けた技術や知識の習得として履歴書の作成支援、模擬面接等就職に役立つ技術習得支援。就職後定着するまでフォローを行いました。

(2) 協力事業所の登録

就労準備事業協力事業所 34件（うち新規1件）

- ① ひきこもりや長期離職者への理解促進
- ② 新たな業種へのアプローチ

3. 家計改善支援事業

家計収支のバランスが取れていないなど、家計に課題を抱える相談者世帯に対して、家計の現状把握や家計改善の意欲を高めることを支援するため、家計表やキャッシュフロー表を活用し、本人を含む世帯全体の家計収支等に関する課題の整理、評価・分析を行いました。相談者自身が自力で家計管理ができるように支援しました。

利用状況

- ・事業利用者 2人
- ・家計改善によるプラン終結 0人

- ① 世帯の家計が見える化する（相談時家計表の作成）支援：11件  
⇒相談者自らが「いくら足りないか」に気づく。
- ② 月単位及び数年先の家計の推移を見通し、家計計画を検討する（家計計画表・キャッシュフロー表の作成）支援：14件  
⇒家計改善支援員とのやりとりの中で、将来の収支変動にも対応できるように「何を増やし、何を減らすか」を相談者自身が考え、見通しを立てる。
- ③ 月1回程度の継続面談を行い、収支を振返る支援：27件  
⇒家計改善意欲を高め、家計管理に継続して取り組む。

- ④ 滞納（家賃、税金、公共料金等）の解消に向け、契約の見直しや各種制度の利用等についてアドバイスを行い、必要であれば各機関に同行する支援：9件
- ⑤ 債務整理に関する支援（多重債務者相談窓口との連携等）：0件  
⇒支払いに追われる生活から脱却し、生活が安定することで世帯としての家計基盤を整える。

#### 4. 生活物品支援事業

緊急一時的な生活物品の貸出・提供により、生活の維持や再建を図り支援しました。

- ・生活物品貸出利用件数 3件
- ・食料提供件数 130件（フードドライブを除く）
- ・生活用品提供件数 19件

#### 5. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長などを図るため、生活福祉資金の貸付をしました。なお、令和2年3月25日から始まった新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方に向けた緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付は、令和4年9月30日をもって終了しました。

##### (1) 生活福祉資金貸付状況

資金種類	件数	金額
福祉資金	13件	2,453,000円
(うち緊急小口資金)	(4件)	(303,000円)
教育支援資金	20件	10,282,000円
総合支援資金	3件	582,310円
合計	36件	13,317,310円

##### (2) 緊急小口資金等特例貸付状況

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	74件	14,350,000円
総合支援資金	40件	19,150,000円
合計	114件	33,500,000円

#### 6. 民生融金貸付事業

緊急で一時的に生活の維持が困難な場合に3万円を上限に貸付を行い、自立した生活に向けて支援しました。また、特に急迫状態にある場合には、ライフラインの確保等を図るため1万円を上限に緊急の貸付を行いました。

##### (1) 貸付決定状況

用途	件数	金額
生活保護のつなぎ	29件	602,000円
生活福祉資金のつなぎ	0件	0円
年金のつなぎ	5件	90,000円
緊急現金貸付	16件	147,000円
その他	7件	180,000円
合計	57件	1,019,000円

## 7. 地域生活相談事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染拡大防止のため相談員による相談は行いませんでした。それに代わる方策として職員が相談に応じました。

### 高齢者に対する包括的な支援（高齢者あんしん支援センター）

高齢者自らが介護予防に努めるとともに、状態の変化に応じて必要な支援を受けながら、できる限り住み慣れた地域で自分らしい自立した生活を続けることができるよう、行政、地域住民、地域の関係機関と連携を図りながら地域包括ケアの推進にあたりました。

#### 1. 包括的支援事業

##### (1) 総合相談支援業務

###### ①地域包括支援ネットワーク構築

- ・民協定例会への出席：67回
- ・地域密着型サービス運営推進会議への出席：205回
- ・その他：28回

・今市あいあいまつり打合せ会・地域つながりセンター交流会・認知症介護実践リーダー研修・住民参加型団体連絡会・認知症フリートーク（出雲地域、平田地域）・出雲圏域病病連携会議・認知症カフェ連絡会（2）・市防災安全課訪問・市民病院居宅虐待成年後見学習会・出雲警察署との連絡会・オレンジサポーター養成講座・高松地区認知症研修会・神門地区社協研修打合せ・高松地区民協要支援者避難計画作成説明会・地域つながりセンター出雲交流会企画会議・介護予防サポーターフォローアップ講座・湖陵さわやか広場・出雲市食育ネットワーク会議・体と心の活性化教室・サンキウエルビィ虐待研修・青壮年期高齢期健康づくりネットワーク会議・荒木地区「災害対策における福祉関係者の役割について」・杵築南B地区福祉座談会・介護予防サポーター養成講座振り返り・ふれあいサロン研修会・伊波野民協意見交換会

- ・出雲市高齢者べんり帳作成
- ・あんしん支援センターだより発行（4回）

- ②実態把握件数：850件
- ③総合相談件数：8,569件（新規：1,571件、継続：6,998件）
- ④新規基本チェックリスト実施（対応）件数：124件

(2) 権利擁護業務

- ①成年後見に関する相談対応件数：17件
- ②老人福祉法措置の支援：7件
- ③高齢者虐待対応件数：56件
- ④困難事例対応件数：278件

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ①介護支援専門員に対する個別支援件数：343件
- ②介護支援専門員のネットワーク構築・支援に関する業務
  - ・居宅介護支援事業者研修会「道路交通法改正と高齢者への対応について」
  - ・居宅介護支援事業者研修会「生活保護について」
  - ・ひかわケアマネカフェ（斐川地域居宅事業所連絡会）

2. 一般介護予防事業の一部

(1) 介護予防把握業務

地域の関係者とのネットワークや訪問活動を通して、閉じこもり等介護予防が必要な高齢者の把握を行いました。

(2) 介護予防普及啓発業務

- ①啓発活動
  - ・サロン：9回
  - ・自主グループ：8回
  - ・高齢者クラブ：2回
  - ・その他：17回
- ②自主グループ立ち上げ・運営支援：84回

3. 第1号介護予防支援業務・指定介護予防支援業務

- ①介護予防支援件数：19,565件（うち委託8,579件）
- ②介護予防ケアマネジメント件数
  - ・現行相当サービス利用分：7,461件（うち委託2,538件）
  - ・多様なサービス利用分：2,137件（うち委託306件）
- ③給付外担当件数（申請中、サービス調整中、住宅改修・用具購入のみ等）  
：1,794件

4. 地域ケア会議に関する業務

(1) 地域ケア会議の開催

- ①個別ケース会議：25回

②地域ネットワーク会議： 3回

(2) 出雲市地域ケア個別会議の開催

出雲市地域ケア個別会議： 7回

事前・事後打合せ会： 13回

5. その他

(1) 各種会議

①内部会議

・あんしん支援センター連絡会： 10回 ・各センター会議： 52回

・職種別会議： 25回

②外部会議

・包括支援センター運營業務・予算執行に関する協議： 9回

・生活支援体制整備事業定例会： 5回

・認知症初期集中支援チーム： 10回

・出雲市介護保険運営協議会： 1回

・出雲市介護保険運営協議会地域支援部会： 2回

・養護老人ホーム入所判定会： 3回

・総合相談体制構築検討ワーキング： 2回

・自立支援協議会つながる専門部会： 5回

・出雲地域介護支援専門員協会総会及び役員会： 10回

・出雲市自立支援協議会サービス調整会議： 4回

・その他<内容>

・出雲市在宅医療介護連携推進会議・出雲市人権施策推進検討委員会・  
出雲医療看護専門学校実習対応・市との協議（地域ケア個別会議運営に  
ついて）・市との協議（身寄り問題について）・市との協議（居宅支援  
事業所研修について）・島根大学大学院学生研究対応（インタビュー）・  
出雲市個別避難計画に係る説明会・市健康福祉部との意見交換会・介護  
支援専門員を対象とした研修会について・出雲医療看護専門学校実習担  
当者会・松江市地域包括支援センターヒアリング・居宅介護支援事業者  
研修会打合せ・島根県地域包括支援センター連絡会・健康づくりグルー  
プ活動発表会・島根県介護支援専門員資質向上研修委員会専門部会・健  
康長寿しまね交流会・地域支え合いフォーラム・認知症コールセンター  
運営委員会・島根県介護支援専門員実務研修講師・島根県認知症施策検  
討委員会・出雲市認知症高齢者支援強化検討会・サンキウエルビィ GH 開  
所式・出雲市総合医療センター運営強化検討委員会

(2) 職員研修

①内部研修

- ・防災出前講座
- ・重層的支援体制整備事業に関する職員研修
- ・メンタルヘルス研修

②外部研修

・高齢者の口腔衛生について・島根県介護支援専門員協会研修会・安全  
運転管理者講習・主任介護支援専門員更新研修・高齢者の運動機能の向  
上について・出雲地域介護支援専門員協研修会・主任介護支援専門員研  
修・地域包括ケアシステム強化セミナー・コミュニティソーシャルワー  
ク実践基礎研修・介護支援専門員専門研修兼更新研修（実務研修）【専  
門研修課程Ⅱ】・「罪を犯した人に対する利用支援協力事業所連絡会議  
研修会・介護施設・事業所の為のBCP策定セミナー・DV関係支援者研修  
会・管理者向け研修・介護支援専門員と相談支援専門員のワールドカフ  
ェ・認知症ケア・フォーラム・「身寄りのない人」の支援を多機関で考  
えるシンポジウム・介護支援専門員研修会「意思決定支援研修」・成年  
後見制度移行検討ガイドライン活用セミナー・地域包括支援センター職  
員等研修会・出雲圏域難病医療研修会・島根県高齢者虐待対応現任者標  
準研修・地域包括ケアシステム関係機関連絡会議・身寄りがいない人への  
支援ガイドライン研修・身寄りのない高齢者の入退院時支援体制の構築  
に向けて・介護支援専門員研修会災害時の介護支援専門員の役割につい  
て・刑余者支援事例検討会

権利擁護を必要とする人に対する支援（いずも権利擁護センター）

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人たちの権利を擁護するとともに、権利が損なわれた場合に相談に応じるなど、地域において安心して生活できるように相談から援助まで一元的に行いました。

1. 日常生活自立支援事業

利用者に対して福祉サービスの利用援助や生活支援を行うとともに本事業の利用促進を図りました。

複合的なニーズを抱える多問題世帯への対応が増えるなか、専門員のスキルアップを図るとともに、生活支援員の人員確保及び資質の向上に取り組みました。

(1) 利用者数 141人

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
33	27	72	9	141

※新規11人 終了15人

(2) 生活支援員などによる代行支援件数 2, 1 1 2 件

(3) 専門員などによる相談支援件数 9, 4 5 1 件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
2, 829	1, 344	4, 796	482	9,451

(4) ケース会議 1 2 1 回

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
15	23	79	4	121

(5) 研修会等

①生活支援員研修会

実施日 令和4年9月26日(月)

会 場 いきいきプラザ島根

主 催 島根県社会福祉協議会

内 容 最近の消費者トラブル事例と対策等

参加者 8人

## 2. 法人後見事業

法人後見受任ケースに対する適正な財産管理と身上監護に努めました。

また、随時、成年後見制度に関する相談に応じ、制度の啓発に努めました。

(1) 受任件数 1 1 件

類型	受任 件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	施設等
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	5	0	2	0	2	1	0
後見	6	0	0	0	3	1	2
合計	11	0	2	0	5	2	2

(2) 法人後見業務件数 1 1 4 5 件

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
財産管理	64	128	250	442
身上監護	116	296	291	703
合計	180	424	541	1145

(3) 相談・支援件数 2 0 件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
10	2	5	3	20

## 3. 障がい者入居債務保証事業



障がい者の社会復帰の促進や地域生活の継続が可能となるように、一般住宅へ入居する際の債務保証を行いました。

利用件数 12件

身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	合計
3	2	7	12

#### 4. 財産保全サービス事業

高齢や障がいなどにより、自分で財産の保管が困難な方に対して、本人に代わって財産を銀行の貸金庫に保管し、安心して生活ができるよう支援を行いました。

利用件数 5件

高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1	0	4	0	0	5

#### 5. 市民後見推進事業

出雲市及び出雲成年後見センターと共に市民後見人の活動支援体制構築を図り、単独受任に向けて取組を進めました。

市民後見人バンク登録者に活動の場を提供し、モチベーションの維持と資質向上を図りました。

成年後見制度をより多くの方に理解していただくために、出前講座や本会が発行している広報紙「社協だよりいずも」に掲載し、啓発に努めました。

##### (1) 市民後見人バンク登録者（9人）の活動の場の提供

日常生活自立支援事業の生活支援員として3人、法人後見事業の法人後見支援員として2人に活動の場を提供しました。

##### (2) 成年後見制度普及啓発

①「社協だよりいずも」への掲載（令和5年2月発行）

②出前講座

- ・郵便局長会 令和4年6月7日（火）15人
- ・高浜地区ボランティア 令和4年9月20日（火）9人
- ・WANAJAPAN（関係者・入居者） 令和4年9月21日（水）5人
- ・高浜地区・鳶巣地区民生委員児童委員協議会 令和5年3月14日（火）11人

##### (3) その他

- ・出雲市、出雲成年後見センターと市民後見人の活動に関する協議等の実施（随時）

## 6. いずも権利擁護センター運営委員会等の開催

第1回 運営委員会 令和4年8月（※書面開催）

### 内 容

- ・委員長及び副委員長の選任結果について
- ・小委員会(法人後見受任審査委員会)委員の選任について
- ・令和3年度いずも権利擁護センター事業報告
- ・令和4年度いずも権利擁護センター事業計画
- ・日常生活自立支援事業【業務概要】

## 7. 出雲成年後見センターとの連携強化

- ・出雲成年後見センター定例会及び研修会への参加
- ・出雲成年後見センター運営委員会への参画（随時）

## 総合的な相談支援（総務課）

複雑化・多様化した生活課題に多くの関係機関が相互に連携・協働しながら総合的に対応できる体制づくりに出雲市とともに取り組みました。

出雲市とともに「出雲市福祉総合相談支援事業」を実施し、既存の福祉相談窓口の機能を最大限活用し、属性を問わず本人やその世帯が抱える地域生活課題を包括的に受けとめ、複雑化・複合化した支援ニーズに対し柔軟に対応できる相談支援を行いました。単独の相談支援事業者では解決が難しい場合、適切な相談支援事業者や各種支援機関との連携を図りながら支援を行いました。

### 1. 出雲市福祉総合相談支援事業

(1) 関係機関・家族等からの相談・問い合わせ等の状況 403件

(2) 事業対象世帯数 33世帯

#### ○世帯分類

単身	高齢者のみ	母子・ 父子	高齢者と 独身の子	3世代 同居	その他	合計
11	0	0	5	1	16	33

#### ○年代別人数

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
4	5	5	6	8	13	7	16	66

○ケース検討会の開催 28回

#### ○対応状況

状況	件数
関係機関へつないだ	4

課題解決（終結）	2
課題改善（終結）	8
死去・連絡途絶えた等	1
継続支援中	18
合計	33

(3) 相談支援包括化推進会議 0回

(4) ワーキンググループの実施 2回

出雲市における望ましい総合相談体制の在り方、個人情報取り扱い、コーディネーターの役割、関係機関の役割分担、地域での福祉課題の早期発見のための工夫や参加と支援等について検討した。

①令和4年11月15日（月）

②令和5年3月15日（水）

(5) 広報・啓発活動 1回

出雲市障がい者施策推進会議 サービス調整会議

日付：令和4年4月25日（月）

内容：障害者支援事業所に対するアンケート調査の報告について

(6) その他 1回

取組事例発表

日付：令和4年11月8日

会議名：令和4年度重層的支援体制整備事業説明会（岡山県）

対応：出雲市福祉総合相談支援事業（国における重層的支援体制整備事業への移行準備事業）の取組状況について事例発表

## 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人に対する支援

新型コロナウイルス感染症にかかわる失業・休業が続く社会不安が増大する中、島根県共同募金会の助成事業を活用して事業に取り組みました。

### 1. 緊急フードドライブ等実施事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける失業中の人や収入が減少した人、ひとり親家庭など経済的に困窮する人の生活を支えるため、市民や企業から寄附いただいた食品・日用品を届けました。

また、2回目の12月17日は「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」と協働開催し、世帯にあわせた食品・日用品の仕分け、来所することの出来ない方への配送などを実施しました。

開催日：令和4年7月16日、令和4年12月17日（2回）

協力者：360の個人・団体（うち、Amazonほしいものリスト17件）

利用者：延べ1485人（国籍：日本、バングラデシュ、インドネシア、フィリピン、ブラジル等）

会場：出雲市社会福祉センター

## 地域支援（地域づくり）

課題解決に向けて当事者を含めた地域住民等によるネットワークの組織化を図り、必要に応じて援助を行うことができる地域社会（福祉コミュニティ）づくりに取り組みました。

### 地域住民の主体的な福祉活動の推進（地域福祉課）

地域住民の主体的な取組により、地域住民が相互に交流する場を拡げ、福祉サービスを必要としている人や世帯を発見し、課題解決を図る活動や相談支援機関等につないでいく仕組みづくりを進めました。

#### 1. 地区社会福祉協議会等活動総合支援事業

住民によって組織された42地区の地区社会福祉協議会等で実施する福祉活動に対して助成しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で従来の福祉活動の実施が難しくなる中、地区社会福祉協議会等の相談に応じ事業内容の変更など、必要な支援を行いました。

重点活動への関わりについては、子どもの居場所づくりとして「子ども食堂」など新たな取組についての支援や各地区において福祉委員の活動推進への支援を行いました。

#### ①事業実施団体数

助成区分		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
1. 高齢者の健康と福祉を高める活動	見守り・声かけ活動	10(1)	6	1	0	1	1	0	19(1)
	生活応援活動	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり活動	8(1)	5	0	0	0	1	0	14(1)
	その他高齢者活動	14(1)	10(1)	1	1	1	5(1)	5	37(3)
2. 心身に障がいをもつ人の福祉を高める活動		9(3)	1	0	1	0	0	2(1)	13(4)
3. 子どもを健やかに育てる活動	子どもの居場所づくり	2	1	0	0	0	1	0	4
	子育てサロン活動	12	2	0	0	0	1	3(1)	18(1)
	子どもの遊び場補修及び新設事業	4	2	0	0	0	2	1	9
	その他子ども対象活動	12(1)	10	1	1	1	3(1)	6	34(2)
4. ボランティアの発掘及び育成のための活動	世話やきボランティア養成講座	7(2)	1	1(1)	0	0	3	0	12(3)
	地区独自の活動	9	4	0	1(1)	1(1)	2	0	17(2)
5. 広報啓発のための活動	地区社協だより発行事業	16	10	1	1	1	4	3	36
	住民座談会	2(2)	0	0	0	0	4	0	6(2)
	その他広報啓発活動	5(1)	1	1(1)	1	0	0	0	8(2)

6. 福祉活動計画を作成するための活動	0	2	0	0	0	0	1	3	
7. その他地域福祉活動	地域支え合い研修会	1(1)	0	1	1	0	0	2(1)	5(2)
	相談所設置事業	2	0	0	0	0	0	0	2
	拠点整備事業	2	0	0	0	0	2	3	7
	地区独自の事業	3	0	0	0	0	1	0	4

※（ ）は返還金<全額>があった団体数。

②助成団体数・助成金交付額

42団体／14,339,576円（内、3,346,850円は返還）

	団体数	助成交付金額		団体数	助成交付金額
出雲	16	6,626,456円	湖陵	1	357,000円
平田	11	2,661,150円	大社	5	1,851,000円
佐田	1	538,000円	斐川	7	1,913,970円
多伎	1	392,000円	合計	42	14,339,576円

2. 地区社会福祉協議会連絡会の開催

地区社会福祉協議会との連絡会を開催し、地区での住民福祉活動の推進やコロナ禍における地区社会福祉協議会活動等についての意見交換や情報交換を行いました。

[出雲]

(出雲地域地区社会福祉協議会会長会)

【会長会定例会】

(第1回) 実施日 令和4年5月27日(金)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 14地区(14人)

内 容 ・令和3年度事業報告・決算について  
 ・令和4年度事業計画・予算について  
 ・任期満了に伴う役員改選について

(第2回) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため9月予定の会議は中止

【会長・事務局長会議】

(第1回) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月予定の会議は中止

(第2回) 実施日 令和4年11月25日(金)

会 場 出雲市社会福祉センター

参加者 16地区(34人)

内 容 ・令和5年度地区社協等活動総合支援事業について  
 ・令和5年度ふれあいサロン事業について  
 ・令和4年度先進地視察研修について  
 ・福祉委員・ボランティア全体研修会について  
 ・意見交換

[平田]

(平田地域福祉のまちづくり協議会)

(第1回) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月予定の会議は中止し、書面にて議決を行いました。

内 容 ・令和3年度事業報告・決算報告について

(第2回) 実施日 令和4年8月26日(金)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(18人)

内 容 ・共同募金について

・視察研修について

・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業について

(第3回) 実施日 令和4年11月30日(水)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(15人)

内 容 ・出雲市ふれあいサロン活動助成金について

・地区社協等活動総合支援事業について

・歳末たすけあい事業について

・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業について

(第4回) 実施日 令和5年2月27日(月)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(16人)

内 容 ・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業について

(第5回) 実施日 令和5年3月29日(水)

会 場 平田福祉館

参加者 11地区(18人)

内 容 ・令和5年度事業計画・予算について

・日赤会費の募集について

・平田地域福祉のまちづくり協議会フードドライブ事業の報告について

[佐田・多伎・湖陵]

(地区社協会長・事務担当者会)

実施日 令和4年12月1日(木)

会 場 多伎地域福祉センター

参加者 3地区(10人)

内 容 ・令和5年度地区社協等活動総合支援事業について

- ・意見交換

[大社]

(地区社協連絡会)

実施日 令和4年12月22日(木)  
 会場 大社行政センター  
 参加者 5地区(10人)  
 内容 ・令和5年度地区社協等活動総合支援事業について  
 ・令和5年度ふれあいサロン事業について  
 ・地区社協総合支援事業・ふれあいサロン事業の今後の流れについて

[斐川]

(地区社協会長連絡会)

(第1回) 実施日 令和4年6月28日(火)  
 会場 斐川行政センター  
 参加者 7地区会長、事務局(15人)  
 内容 ・地区社協等活動総合支援事業助成金について  
 ・各地区社協の取組について

(第2回) 実施日 令和4年11月24日(木)  
 会場 斐川行政センター  
 参加者 7地区会長、事務局(15人)  
 内容 ・令和4年度地域支え合いフォーラムについて  
 ・令和5年度地区社協等活動総合支援事業について  
 ・助成金交付各種様式について

### 3. ふれあいサロン活動助成事業

住民主体の高齢者の集いの場づくりを促進しました。身近な場所での仲間づくりの活動や交流を通し、社会参加や介護予防などの健康づくりを進めました。定期的な開催を働きかけ54のサロンが月1回以上の開催となりました。

また、ふれあいサロン活動を行う団体を対象に新型コロナウイルス感染症の対策や再開している活動の様子を伝え運営の支援を行いました。

#### ① 助成団体数・助成交付額

53団体 / 22,490,467円(内、7,100,406円は返還)

地域	団体数	助成交付額	地域	団体数	助成交付額
出雲	16	8,843,042円	湖陵	5	976,000円
平田	11	4,469,790円	大社	5	2,583,000円
佐田	8	1,317,000円	斐川	7	4,101,635円
多伎	1	200,000円	合計	53	22,490,467円



② 各地域のサロン数、参加人数、年間平均開催数（実績）

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
サロン数	190	56	8	13	6	54	24	351
参加人数 (延べ)	12, 224	6, 397	750	1, 816	484	3, 351	4, 403	29, 425
年間平均 開催数	4. 5	8. 2	6. 5	10. 7	5. 0	5. 9	8. 6	5. 8 (平均)

③ サロン研修会の開催状況

[全域]

実施日 令和5年3月13日（月）

会 場 朱鷺会館

参加者 79人

内 容 ・ 講演：「笑う門にはいいサロン ～サロンの良さを知ろう～」

講師：笑門介護 中村学事務所 代表 中村 学氏

・プログラム体験ブース

4. 地域ふれあい見守りネットワーク事業

地区社協や福祉団体等との連携と協働により、地域特性をいかして高齢者等の見守り活動を行いました。

[多伎]

○見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員 28人

内 容：見守り登録者 87人

毎月の訪問（ほっとだより配布） 61世帯

○「あんしんカード」の作成〔緊急時の連絡票〕

配布先：70歳以上の高齢者世帯（希望者）74世帯

○「ほっとだより」の作成〔見守り訪問時に配るおたより〕

作成者：ボランティアグループ4団体、個人ボランティア2人

[湖陵]

○「あんどカード」の作成〔緊急時の連絡票〕

配付先：75歳以上の高齢者世帯（希望者）146世帯

[斐川]

○見守り活動

活動者：民生委員、福祉委員他

内 容：一人暮らし高齢者宅への訪問 475世帯

○「ふれあいレター」〔見守り訪問時に配る絵手紙〕（奇数月発行）

作成者：ボランティア

配付先：一人暮らし高齢者（希望者） 243世帯

○「お元気ですか」〔見守り訪問時に配るおたより〕（偶数月発行）

配布先：一人暮らし高齢者と見守りの必要な高齢者（希望者）557世帯

## 5. 福祉団体活動助成事業

出雲市内で福祉団体等が行う高齢者、障がい者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に対し助成を行いました。

① 助成金交付額 5,272,020円（内、227,057円は返還）

② 助成団体 14団体

出雲市遺族会	斐川町遺族会	出雲市高齢者クラブ連合会※
出雲市身障者福祉協会※	出雲市聴覚障害者協会	子ども・馬に乗る会
出雲市認知症キャラバン・メイト連絡会	出雲 縁ingトークの会	子どもサポートプロジェクト
全国ギャンブル依存症家族の会 島根	出雲市手をつなぐ育成会※	多文化`結`の会
RUN伴いずも※	斐川地域地区社会福祉協議会	

※印は返還金のあった団体

## 地域住民等の参加と協働による福祉のまちづくりの推進（地域福祉課）

地域住民（福祉団体・福祉施設）等の参加と協働による支え合いの活動により、安心して暮らすことができるまちづくりを推進しました。

### 1. 認知症高齢者等SOSメール安心ネットワーク事業

認知症や障がいがあっても安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、認知症高齢者等が行方不明になった際に、SOSメール登録者のスマートフォン・携帯電話等に行方不明者情報をメール配信し、早期発見を図りました。

また、行方不明になることが心配される認知症高齢者等の名前、特徴、写真などの情報をあらかじめ登録する事前登録制度とSOSメール登録者募集のチラシを地域での研修会や行事等で配布し、周知啓発に努めました。

① 登録メールアドレス数 1,659アドレス

(新規登録110アドレス、取消8アドレス)

② メール配信件数 14件（行方不明者5人：10件、啓発等：4件）

③ 事前登録者数 137人（新規登録28人、取消6人）

### 2. 出雲市生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるために、生活支援サービスの充実を図るとともに、地域

における支え合いの体制づくりに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域における支え合いの体制づくりが難しい状況の下、新たな活動者の発掘に係る取組を推進するなど、コロナ禍でもできることを中心に取り組みました。

## (1) 地域における支え合いの体制づくり

### ①地域支え合いフォーラム

我がまちの状況を我がこととしてとらえ、地域の中で何ができるのかをともに考え、地域での支え合い活動の一層の推進を図ることを目的に開催しました。

実施日：令和4年12月11日（日）

会 場：斐川文化会館（斐川町）

参加者：125人

内 容：・基調講演：「コロナ禍で考える“支え合い”の地域づくり“」

講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

・事例報告：「コミュニティを変えるエネルギー・どうやってつくる？」

報告者：伊野やっつて未来こい！ネット 事務局長 多久和 祥司 氏

・紹介：「あなたのまちに出向きます！地域での支え合いのススメ

～生活支援コーディネーターと支え合いを考えませんか～」

紹介者：生活支援コーディネーター

・まとめ：「まとめのお話～わがまちの支え・合いをどうするか～」

講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

### ②ステップ1 地域支え合い研修会

たすけあい活動の必要性の理解を深め、支え合いの意識醸成を行う研修会を実施しました。

【実施状況】8地区（今市、大津、高松、神門、佐田、多伎、湖陵、久木）

※圏域を超えた団体などでも実施

実施回数 10回

参加者数 356人

### ③ステップ2 「さあ話し合おう」（ワークショップ）

地域の現状・資源・課題の把握を行うとともに、目指す地域像を共有しました。

【実施状況】3地区（佐田、多伎、湖陵）

実施回数 1回

参加者数 28人

### ④ステップ3 地域支え合い会議

住民が主体となって、地域課題解決に向けた話し合いを行い、地域の支え合いの仕組みづくりの検討をしました。

【実施状況】 9 地区（既存の地縁型たすけあい活動団体を含む）

（高浜、鳶巣、上津、稗原、朝山、神門、国富、鰐淵、北浜）

（2）生活支援サービスの充実（住民による支え合い（生活支援）の場づくり）

①生活支援（たすけあい活動）団体ネットワーク

連携協働して、生活支援サービスの充実が図れるよう連絡会を開催しました。

実施日：令和4年10月5日（水）

会 場：出雲弥生の森博物館

参加者：市内のたすけあい活動団体（14団体）20人

内 容：第1回住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

※第2回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②たすけあい活動団体の新たな活動者の発掘に係る取組

共通の課題である「活動者の発掘」を促すための取組を行いました。

- ・たすけあい活動団体の共通の課題である「活動者の発掘」を促すため、活動者募集を主眼に置いたチラシを作成・更新し、市と連携して参画が期待される市内企業の退職予定者セミナー等を通じて配布したり、65歳到達時に送付する介護保険被保険者証に同封して広く周知を図りました。また、「社協だよりいずも」にたすけあい活動の特集記事を掲載し、広く市民にPRを行いました。
- ・活動者募集を主眼に置いたチラシの作成、更新
- ・チラシを65歳到達時に送付する介護保険被保険者証に同封し広く周知
- ・市との連携による市内企業退職者セミナー等を通じての周知
- ・「社協だよりいずも」にたすけあい活動の特集記事を掲載

③たすけあい（生活支援）活動の勉強会

新たな担い手を増やし生活支援サービスの充実を図ることを目的に、たすけあい（生活支援）活動に必要な知識や技術を学ぶ勉強会を開催しました。

実施日：令和5年2月22日（水）

会 場：出雲市社会福祉センター

受講者：15人

内 容：・説明：「知ってなっ得！魅力あるたすけあい活動とは」

説明者：出雲市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

・講義：「学んでなっ得！たすけあい活動の基礎知識と心がまえ」

講師：（公財）さわやか福祉財団

さわやかインストラクター 熊谷 美和子氏

・体験：「やってなっ得！高齢者疑似体験」

講師：出雲市社会福祉協議会 地域福祉課

・お話：「聴いてなっ得！たすけあい活動」

発表者：たすけあいボランティア 利用者、活動者

・団体紹介：「市内たすけあい活動団体紹介」

説明者：出雲市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

④社会資源情報の見える化（「てごナビ」）

市内の社会資源情報の把握し、高齢者や家族及びその人たちを支援する方が簡便に必要な情報を取得できるように、暮らしのお役立ち情報『てごナビ』（<http://tegonavi.com/>）を運用しました。

・掲載事業所数：89事業所

・ページビュー数(訪問数)：32,578件

⑤「出雲市たすけあい活動団体パンフレット」による啓発

支援を必要とする人の利用促進と新たな活動者の掘り起こしのために、生活支援（たすけあい活動）団体の情報を一元化したパンフレットを発行し、関係団体・機関等へ配付しました。

⑥協同組合系組織との協働

たすけあい活動団体のうち協同組合やボランティア団体で構成する「地域つながりセンター」と協働で、ケアマネジャーとの相互理解を深めるための交流会やたすけあい活動団体のコーディネーター交流会を開催しました。

【事例de交流会】

実施日：令和4年6月17日（金）

会 場：縁結び交流館

参加者：たすけあい活動団体関係者、ケアマネジャー等 約40人

内 容：・ミニ学習会：「ともに支える」たすけあい活動

出雲市健康福祉部 医療介護連携課 係長 廣澤 陽子 氏  
「介護保険でできる事、できないこと～それぞれの特性を活かすには～」

出雲地域介護支援専門員協会 副会長 山本 由典 氏

・事例提供：「新型コロナ感染に係る利用者の情報提供について」

ひかわ医療生協有償たすけあいつくし 事務局 西山 亜輝 氏

・グループ交流及び全体報告

【コーディネーター交流会】

実施日：令和4年11月9日（水）＜第1回＞

令和5年2月16日（木）＜第2回＞

(3) 生活支援コーディネーターの取組状況

活動状況	件数	内容
相談・支援	89	生活支援サービス提供団体からの相談、立ち上げに向けた相談や働きかけなど
研修(講師)	40	地域での支え合い(見守り、居場所、支え合い等)活動について周知啓発を図る
研修実施	21	支え合い活動などの担い手研修、フォーラムなどの開催[協議等含](地域支え合いフォーラムほか)
ニーズ把握・社会資源把握	15	社会資源情報の把握・見える化や全市的な課題やニーズの把握など[協議等含]サロン活動等の状況把握
ネットワーク会議・連絡会	24	団体連絡会など関係する団体とのネットワーク化を図る(住民参加型福祉サービス団体連絡会ほか)
外部会議への参加・説明	67	外部の機関・団体による会議への参加及び事業説明、外部機関等の行事打合せ等
定例会	6	市、高齢者あんしん支援センター等との体制整備事業についての推進会議
内部協議	42	市、高齢者あんしん支援センター等との内部協議
外部研修への参加	15	外部の機関・団体による研修への参加
視察	1	先進地への視察
視察対応	1	外部からの視察対応
その他	90	広報に係る取材ほか
合計	411	

3. 住民参加型在宅福祉サービス事業

住民が地域で安心して暮らすことができるよう、公的サービスでは対応できない地域のニーズを解決するために、住民相互の助け合いによる有償の福祉サービスを実施しました。

(1) たすけあいボランティア事業

利用会員の要望に応じて、協力会員が家事援助、通院の付き添いや話し相手(見守り)等を行いました。

①会員数：利用会員82人、協力会員43人、賛助会員10人

	出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	市外	合計
利用会員	71	1	0	5	0	5	0	0	82
協力会員	29	1	1	7	0	4	1	0	43
賛助会員	8	1	0	0	0	0	0	1	10

②利用状況：1, 670件／2, 989時間

内容	利用件数	利用時間	内容	利用件数	利用時間
衣類の洗濯等	10	31	住居の補修	9	32
住居の掃除等	962	1,689	食事の支度	223	419
買物等	151	159	軽易な介護	0	0
外出の介助等	61	174	保育・養育	81	85
話し相手	9	27	その他	25	40
草取り等	139	333	合計	1,670	2,989

(2) すこやか訪問事業

出産後子育てに不安な養育者に対して家事援助や育児援助を行います。

・利用世帯：0世帯

(3) 家事育児訪問サポート事業

妊娠中または3歳未満を療育している保護者に対して家事援助や育児援助を行いました。

・利用世帯：2世帯

4. 共同募金歳末助け合い事業

年末時期に、一人暮らし高齢者世帯や低所得世帯等に対して、家屋修繕や清掃等の生活援助、地域の福祉団体への助成等を行いました。

[出雲]

○75歳以上の高齢者のみ世帯や障がい者のみ世帯の希望者に対して、小規模な家屋修繕または家屋（内外）の清掃を行いました。

・実績：65世帯

[平田]

○支援が必要な方を対象として、地区社協やボランティアグループ等が主体的に行う活動等へ助成を行いました。

・実績：9地区社協及び1団体

[佐田]

○70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢者のみ世帯に対して、声かけによる安否確認を兼ねて、佐田特産品セットをお届けしました。

・実績：199世帯

[多伎]

○75歳以上の高齢者のみ世帯の希望者に対して、障子や襖の張替え、年末大掃除、建具小修繕等を行いました。

・実績：73世帯

○在宅介護世帯、見守り登録世帯、一人親世帯に対して贈答品をお届けしました。

・実績：在宅介護世帯 8世帯

地域ふれあい見守りネットワーク事業登録世帯 69世帯

ひとり親世帯 11世帯

○見守り登録者に対して、町内の小学4年～6年が作成した年賀状を送りました。

・実績：69世帯

[湖陵]

○80歳以上の高齢者のみ世帯に対して、声かけによる安否確認を兼ねて、贈答品をお届けしました。

- ・実績：124世帯

[大社]

○80歳以上の一人暮らし高齢者世帯、ひとり親世帯、支援を必要とする世帯に対して、贈答品をお届けしました。

- ・実績：386世帯

[斐川]

○65歳以上の一人暮らし高齢者のうち「ふれあいレター」希望者に対して、町内の小中学生が作成した年賀状を送り、地域社会とのつながりを実感する機会としました。

- ・実績：250世帯へ送付

## 福祉サービスの提供（地域福祉課）

### 1. 車いす貸出事業

在宅の高齢者、障がい者、けが等で車いすを必要とする人に車いすを無料で貸し出しました。

貸出件数

出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川	合計
114	21	1	6	1	9	33	185

### 2. ガイドヘルプ事業

障がい者総合支援法による地域生活支援事業（移動支援事業）を実施し、視覚障がい者に対して、外出時の安全のためにガイドヘルパーを派遣しました。

また、移動支援事業の給付の対象外となる通院時の院内付添いについては、独自にサービスを提供しました。

- ① ガイドヘルパー 12人（常勤1人、登録11人）
- ② 実利用者数 31人
- ③ 利用実績

区分	利用日数	利用時間
個別支援	942	2152.5
内、給付対象外	(212)	(225.5)
グループ支援	16	60.0
合計	958	2212.5

#### ④ 利用内容

区分	利用日数
通学・通勤	13
日常生活	733
通院	212
合計	958



## 社会福祉法人等との連携・協働及び支援等（総務課、地域福祉課）

社会福祉法人等の福祉事業者や福祉関係者・団体との連携・協働により地域福祉を推進するとともに、福祉団体の支援を行いました。

### 1. 社会福祉法人による地域貢献活動推進事業

市内で社会福祉事業を行っている社会福祉法人により設立された「地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会」及び斐川地域の社会福祉法人により設立された「斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会」の事務局を担当しました。

[地域貢献のための出雲市社会福祉法人連絡協議会]

①加入法人数 40 法人

②総会 内 容 ・第1号議案 令和3年度事業報告について  
・第2号議案 令和3年度決算について  
・第3号議案 令和4年度事業計画について  
・第4号議案 令和4年度予算について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は中止し議案については書面決議。

③役員会

(第1回) 実施日 令和4年9月14日(水)

内 容 ・令和3年度事業報告及び決算(案)について  
・令和4年度事業計画及び予算(案)について  
・今後のスケジュールについて

[斐川地域社会福祉法人の地域貢献連絡会]

①加入法人数 10 法人

②総会 実施日 令和4年6月17日(金)

※リモート会議

内 容 ・令和3年度事業報告、決算(案)について  
・令和4年度事業計画、予算(案)について

③会議

(第25回) 実施日 令和5年1月25日(水)

※リモート会議

内 容 ・令和5年度事業計画について  
・相談のキャッチフレーズについて

④研修(人権同和教育研修会)

実施日 令和4年9月27日(火)

内 容 ・人権同和研修会(出雲市同和教育啓発指導員:園山氏)

実施日 令和4年9月30日(金)

内 容 ・人権同和研修会（出雲市同和教育啓発指導員：園山氏）

⑤研修（シトラスリボンプロジェクト）

内 容 10法人 16施設 609人が作成

2. 高齢者マッサージサービス事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3. 団体支援等

- (1) 出雲市民生委員児童委員協議会など社会福祉団体の支援
- (2) 島根県共同募金会出雲市共同募金委員会
- (3) 日本赤十字社島根県支部出雲市地区

4. その他の事業

(1) 戦没者追悼事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 人材育成（人づくり）

地域福祉活動への理解と関心を高めるとともに、社会福祉に関する活動に参加する人を増やし、またその活動を活発にするための取組を進めました。

### ボランティア活動の促進（地域福祉課）

ボランティアまちづくりセンターにおいて、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うとともに、ボランティア活動をコーディネートしました。また、ボランティア保険加入手続きや備品・活動場所の貸出などの活動支援を行いました。併せて、ボランティア活動の担い手の育成とネットワークの拡大を図る取組を進めました。

#### 1. ボランティアまちづくりセンターの運営

ボランティア活動への関心を高め、活動への参加促進を図るため、ボランティアまちづくりセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置しました。ボランティア活動に関する相談、情報提供、必要に応じた調整等を行いました。

また、市内において増加傾向にある子ども食堂の立ち上げ、運営等に関する相談に対し、情報提供および協議への参加、活動団体の交流会開催等の支援を行いました。

#### (1) 相談件数等

	相談	紹介		活動場所の提供	
		うち活動希望	うち派遣希望		
出雲	328	17	12	5	140
平田	101	2	0	2	39
佐田	18	16	16	16	12
多伎	31	8	0	8	11
湖陵	9	12	0	12	0
大社	40	0	0	0	18
斐川	2	2	2	0	1
合計	529	73	30	43	221

#### (2) 保険関連件数

ボランティア活動中のケガ等の補償のため、「ボランティア活動保険」の加入手続きや請求手続きを行いました。また、地域で開催される行事のための「ボランティア行事用保険」等、各種保険の加入・請求手続きを行いました。

ボランティア活動保険		
加入件数	延べ人数	請求手続き件数
122	2, 351	3

(3) ボランティア登録数

	団体数	団体人数	個人
出雲	87	3,267	91
平田	13	288	0
佐田	3	39	0
多伎	3	189	0
湖陵	4	59	0
大社	7	61	5
斐川	6	147	0
合計	123	4,050	96

(4) ボランティア活動支援

[平田]

住宅修繕奉仕活動

内 容 平田地域のひとり暮らし高齢者を対象にした簡易な住宅修繕と相談

実施日 令和4年12月4日(日)

活動者 平田建築組合青年部

訪問世帯 6世帯

(5) 民間助成金情報の提供

社会福祉法人及びNPO法人、ボランティアグループなどの福祉活動を財源面から支援する各種民間助成金について、情報提供及び相談対応を行いました。

① 助成金情報の提供

・回数 29回

・団体数 65団体

② 相談対応

・団体数 15団体(延べ27件)

2. 技術ボランティアの養成

(1) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者との手話での日常会話に必要な手話技術や知識を習得し、手話奉仕員として活動できる人を養成するための講座を開催しました。

実施日 令和4年9月3日(土)～令和5年3月25日(土)(全21回)

会 場 出雲市社会福祉センター

受講者 22人 ※令和5年度への継続受講者 16人

## (2) 点訳奉仕員養成講座

点訳に必要な知識と技術を修得し、視覚障がい者が利用する点字図書の作成など点訳活動ができる人を養成するために講座を開催しました。併せて、点訳に興味関心のある方を対象に、ミニ体験会も開催しました。

### ①ミニ体験会

実施日 令和4年5月10日(火)

会場 出雲市社会福祉センター

参加者 4人

### ②養成講座

実施日 令和4年6月6日(月)～令和5年3月7日(火) (全21回)

会場 出雲市社会福祉センター

講師 出雲市アイアイ会

修了者 4人

## (3) 広報音訳ボランティアフォローアップ研修会

視覚に障がい者が利用する声の広報の制作にあたるボランティアの知識や技術を高めるとともに音訳活動への参加意欲を高めることを目的とする講座を開催しました。

実施日 第1回 令和5年1月25日(水)

第2回 令和5年3月1日(水)

会場 第1回 平田福祉館

第2回 出雲市社会福祉センター

参加者 23名

## 3. ボランティア活動に参加する人の拡大

### (1) ボランティア講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 福祉教育の推進 (地域福祉課)

福祉コミュニティづくりを進めるため、地域において生涯にわたる福祉教育の展開を目指して、学校や地域社会、企業等において福祉教育を推進しました。

特に、障がい者に関する取組については、当事者とともに実施することで、障がい者に対する正しい認識と関わりについて理解を深めました。

### 1. 福祉教育推進事業

学校や地域、職場等において、地域住民が福祉への関心を高め、理解を深めるための福祉教育を推進しました。

#### (1) 福祉学習支援

小学校、中学校、高等学校、企業等に対して、車いすやアイマスク等の貸出や福祉学習プログラムへの助言を行うとともに、職員を講師として派遣しました。

(2) あいサポート運動推進事業

多様な障がいの特性や障がい者が日常生活の中で、工夫していること、困っていること、障がい者への配慮等を理解し、日常生活の中でちょっとした手助けを行う「あいサポーター」を普及し、障がい者が暮らしやすい地域社会づくりを進めるために、障がいがある当事者、外部メッセンジャーおよび職員を講師として派遣しました。

①福祉学習支援およびあいサポート運動の実施状況

	一般・団体		企業・事業所		学校		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
出雲	15 (7)	1,191 (908)	7 (1)	131 (5)	39 (14)	2,518 (862)	61 (22)	3,840 (1,775)
平田	1 (0)	14 (0)	1 (0)	27 (0)	19 (5)	442 (93)	21 (5)	483 (93)
佐田	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	42 (21)	2 (1)	42 (21)
多伎	1 (0)	28 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	18 (18)	2 (1)	46 (18)
湖陵	1 (0)	40 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (1)	175 (38)	6 (1)	215 (38)
大社	1 (0)	66 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (1)	356 (40)	10 (1)	422 (40)
斐川	1 (0)	26 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (4)	1,002 (288)	16 (4)	1,028 (288)
合計	20 (7)	1,365 (908)	8 (1)	158 (5)	90 (27)	4,553 (1,360)	118 (35)	6,076 (2,273)

※地域は実施した機関や団体の所在地域での実績です。

※各地域下段の数字は、福祉教育のうち「あいサポート運動」としての実績です。

②外部講師紹介件数 31件

(3) 介護の基礎的講座

福祉の現場で働く介護の専門職が、中学生に向けて人の尊厳や高齢者の自立した生活を支えることの大切さや、そうした考え方のもとに実践される福祉の仕事の社会的意義や仕事の魅力を伝えました。

- ・協力福祉施設 16施設
- ・実施校 9校

# 法人運営

---

民間団体としての主体的な経営判断を行ない、かつ地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性をあわせ持つ地域福祉を推進する団体として、住民に信頼される組織の確立を図りました。

## 信頼にこたえる法人運営（総務課）

経営管理体制の強化と安定的な財務運営及び地域に開かれた組織体制の確立に努めました。

### 1. 法人運営事業

#### (1) 組織運営

- ・役員会等の開催（評議員会、理事会、監査会、正副会長会）
- ・定款、諸規程の整備
- ・本所・支所との連絡調整

[会議]

#### ①正副会長会

令和4年6月3日（金）

令和4年12月2日（金）

令和5年1月18日（水）

令和5年3月7日（火）

#### ②理事会

第74回理事会（※決議の省略）

議第335号 理事の辞任に伴う評議員会への理事補欠選任候補者の推薦について

議第336号 第65回評議員会（臨時）の招集について

第75回理事会

令和4年6月8日（水）

議第337号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

議第338号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

議第339号 令和3年度事業報告について

議第340号 令和3年度決算について

議第341号 評議員の辞任に伴う評議員選任・解任委員会への評議員補欠選任候補者の推薦について

議第342号 令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議第343号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算につ

いて

議第344号 第66回評議員会（定時）の招集について  
第76回理事会

令和5年3月16日（木）

議第345号 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会給与等に関する規程の一部改正について

議第346号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

議第347号 第4期中期経営計画について

議第348号 令和5年度事業計画及び資金収支予算について

議第349号 第67回評議員会（3月）の招集について

### ③評議員会

第65回評議員会（臨時）（※決議の省略）

議第227号 補欠理事の選任について

第66回評議員会（定時）

令和4年6月24日（金）

議第228号 令和3年度事業報告について

議第229号 令和3年度決算について

議第230号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支第1回補正予算について

第67回評議員会（3月）

令和5年3月24日（金）

議第231号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支第2回補正予算について

議第232号 令和5年度事業計画及び資金収支予算について

### ④監査会

令和4年5月24日（火）

令和3年度事業報告について

令和3年度決算について

## (2) 経営基盤の確立

- ・会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡充
- ・財務運営の安定化（会費、寄附の受納、共同募金運動の促進、積立金の適正管理）

[会費収入等]

①会費収入額	37,350,800円
・一般会費	33,939,300円
・団体会費	690,000円



- ・賛助会費 2, 681, 500円
- ②寄附金収入額 26, 317, 428円
  - ・一般寄附金 6, 913, 605円 (60件)
  - ・香典返し寄附 19, 332, 000円 (638件)
- ③共同募金助成 (令和2年度募金 B助成) 18, 371, 311円

(3) 経営管理の充実

- ・会計、税務、財務の適正管理
- ・人事、労務の適正管理
- ・個人情報保護の適正対応
- ・苦情解決体制の充実と適正対応
- ・リスク管理の徹底
- ・健康経営の推進
- ・受託事業等に係る契約の適正管理

[労務管理]

①衛生委員会

毎月、産業医と労働安全衛生計画で定めた事業計画の執行状況について確認しました。

産業医：塩飽邦憲氏

②健康・メンタルヘルス相談

職員を対象に健康とメンタルヘルスに関する相談を実施しました。(面談、メール)

相談員 塩飽邦憲氏 (産業医)

[苦情解決の状況]

- ・苦情受付件数 4件
- ・苦情の内容 職員の対応に関する事 4件
- ・苦情解決件数 4件

[契約等の取扱い]

一般競争、指名競争の状況

- ・件名 令和4年度「社協だよりいずも」印刷
- ・契約方法 指名競争入札
- ・予定価格 1, 804, 900円(税込)
- ・契約金額 1, 696, 288円(税込)
- ・契約の相手方 株式会社報光社

(4) 関係機関との連絡調整

- ・行政機関 (出雲市、出雲保健所等)
- ・社会福祉協議会 (島根県社会福祉協議会、県内の市町村社会福祉協議会等)

- ・福祉団体
- ・福祉施設等

## (5) 役職員の研修

### ①内部研修

#### 〔新任職員研修〕

実施日 令和4年5月12日（木）

参加者 職員7人

内 容 会長・常務理事による講義、事務局長による事業説明等

〔メンタルヘルス研修〕各自でオンラインコンテンツを視聴しました。

実施日 令和5年1月11日（水）～1月31日（火）

参加者 職員99人

教 材 厚生労働省：働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」

#### 〔重層的支援体制整備事業研修〕

実施日 令和4年12月20日（火）～12月27日（火）

参加者 職員73人

内 容 重層的支援体制整備事業について

### ②外部研修

- ・コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修
- ・社協職員研修（中堅）
- ・労務管理研修
- ・中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会第60期研修会

### ③自己啓発研修の推進

- ・自己啓発援助制度による援助決定：7件

## 広報啓発活動の推進（総務課・地域福祉課）

社協の存在や役割を広く伝え、地域住民の社協に対する理解と共感を広げ、認知度を高める取組を進めました。

### 1. 出雲市総合社会福祉大会の開催等

#### (1) 出雲市総合社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者を被表彰者に限り、式典のみ開催しました。

開催日 令和4年9月13日（火）

会 場 出雲市民会館

- ・市社会福祉協議会会長表彰及び感謝 106人、3団体

(2) しまね県民福祉大会への参加

開催日 令和4年10月8日(土)

会場 島根県民会館

参加者 41人

(3) 各種表彰の候補者の推薦

- ・島根県社会福祉協議会会長表彰・感謝 7人
- ・島根県知事感謝 2人、1団体
- ・島根県各種功労者表彰 1団体
- ・全国社会福祉協議会会長表彰 1人

2. 「社協だよりいずも」の発行

住民へ広く本会の取組を周知し、また福祉情報を提供するために2ヶ月に1回、「社協だよりいずも」を発行し、市内各世帯へ配付しました。

発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月

発行部数 48,000部(1回当たり)

3. 音訳広報・点訳広報発行业

各種広報の内容を音声で録音した音訳広報と点字版の「社協だよりいずも」をボランティアグループの協力により製作し、希望する視覚障がい者に送付しました。

(1) 音訳広報発行

①音訳広報「広報いずも」

内容 「広報いずも」第278号～第289号

発行回数 12回

利用者数 延べ541人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、  
斐川音訳ボランティアトゥインクル

②音訳広報「いずも市議会だより」

内容 「いずも市議会だより」第68号～第71号

発行回数 4回

利用者数 延べ181人

作成者 音訳ボランティアせせらぎ

③音訳広報「社協だよりいずも」

内容 「社協だよりいずも」第139号～第144号

発行回数 6回

利用者数 延べ225人

作成者 朗読ボランティアひばりのうた

④音訳広報「新型コロナウイルス感染症に関する臨時の発行物」

- 内 容 ○「出雲市から新型コロナワクチンの3回目接種に関する大事なお知らせです」 第8弾
- 「出雲市から新型コロナワクチンの4回目接種に関する大事なお知らせです」 第2弾～第5弾
- 「出雲市から新型コロナワクチン接種に関する大事なお知らせです」 第1弾～第3弾

発行回数 8回

利用者数 延べ80人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会

⑤音訳図書（プライベートサービス）

図 書 9冊

新聞コラム 通年

利用者数 3人

作成者 音訳ボランティアいずも、音訳グループやまびこの会、  
斐川音訳ボランティアトゥインクル、音訳ボランティアせせらぎ、  
朗読ボランティアひばりのうた

(2) 点訳広報発行

点訳広報「社協だよりいずも」

内 容 「社協だよりいずも」第139号～第144号

発行回数 6回

利用者数 延べ36人

作成者 出雲市アイアイ会

4. ホームページの運営管理

住民へ広く社協活動を周知し、また福祉情報を提供するために、ホームページを運営しました。住民、福祉事業者、ボランティア団体等が情報発信できる場を設け、福祉活動の活性化を図りました。

①ページビュー数 128, 112件

②記事掲載数

「社協の活動紹介」 148件

「地域の活動紹介」 43件

「福祉掲示板」 37件

「研修情報」 2件

5. 出雲市民余芸大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 中期的な計画の推進（総務課）

### 1. 地域福祉活動計画推進事業

出雲市と一体的に策定した「第3次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について、出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、進捗管理を行いました。

また、令和4年度は「第3次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」が計画期間の最終年度にあたることから、令和5年度からの5年間を計画期間とする次期計画を策定しました。

「第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、出雲市における中長期的な地域福祉の進むべき道を示す計画であり、「ぬくもりのある福祉のまちづくり」を基本目標とし、「地域共生社会の実現に向けて」を副題としました。

#### (1) 出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

##### (第1回)

- 開催日 令和4年5月30日（月）  
出席者 委員13人  
会場 出雲市役所 庁議室  
内容 ・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定スケジュールについて  
・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画について  
・出雲市福祉総合相談支援事業の取組について

##### (第2回)

- 開催日 令和4年9月27日（火）  
出席者 委員14人  
会場 出雲市役所 庁議室  
内容 ・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画(素案)について  
・出雲市福祉総合相談支援事業の取組状況について

##### (第3回)

- 開催日 令和4年11月11日（金）  
出席者 委員11人  
会場 出雲市役所 大会議室  
内容 ・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画案について

##### (第4回)

- 開催日 令和5年2月8日（水）  
出席者 委員14人  
会場 出雲市社会福祉センター  
内容 ・第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画について

- ・出雲市再犯防止推進計画の策定について
- ・令和5年度の出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催について

## 災害見舞への取組（総務課）

### 1. 災害見舞金事業

火災や風水害等自然災害で被災された世帯へ見舞金をおくりました。

- ・見舞金（1世帯10,000円）5世帯

## 会館管理（総務課）

### 1. 会館管理事業

各センターの適正な管理運営に努めました。

#### （1）出雲市社会福祉センター管理運営事業

出雲市社会福祉センターの貸館は、一部利用制限を設けて行いました。

- ・開館日数 267日

（貸館休止期間：令和4年4月1日～6月12日、7月11日～10月10日）

- ・利用回数 914回
- ・利用者数 6,263人

#### （2）多伎地域福祉センター管理運営事業

- ・開館日数 276日
- ・利用回数 839回
- ・利用者数 11,906人

#### （3）平田福祉館管理運営事業

- ・開館日数 276日
- ・利用回数 408回
- ・利用者数 1,805人

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 1. 方針の決定

月例の経営会議の他、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて臨時の経営会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対策について方針を決定し、対策の具体化を進めました。

### 2. 職員の感染対策

- ・基本的な感染予防の徹底（「三密」の回避、こまめに換気、人と人との距離の確保、マスク着用、手洗いなどの手指衛生、毎朝の体温測定、体調チェック）、行動

記録等

- ・消毒液の設置、飛沫感染防止用衝立の設置、業務用車両の使用後の消毒・換気等
- ・ワクチン接種についての情報提供
- ・ワクチン接種日等を特別休暇とする取り扱い

### 3. 施設利用への対応

- ・利用できる団体や日時、部屋の利用可能人数等を限定、使用する際の留意事項（利用者の体調確認、使用後の机やいすの消毒等）の周知
- ・「利用団体報告書」、「相談・会議等施設利用者確認票」の作成と使用

### 4. 業務継続のための体制構築

- ・オンラインによる会議や研修への参加等
- ・必要に応じて臨時に職員配置